

FUKAYA News Release

市長定例記者会見次第

令和5年9月27日（水）
午前10時30分～

1. あいさつ

2. 発表内容

ページ

(1) 【川本地区の新たな活動拠点】

1

『川本地区複合施設』の愛称が決定！

(2) 【文化の秋・渋沢栄一新一万円札発行記念】

3

11月に『郷土の偉人フォーラム』を3日間連続開催

次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：令和5年10月25日（水）午前10時30分～11時30分

川本地区の新たな活動拠点

『川本地区複合施設』の愛称が決定！

■ 概要

現在深谷市では、『川本地区複合施設』の建設工事を進めています。

『川本地区複合施設』は、公民館機能、旧もくせい館（世代間交流施設）が有していた、入浴施設や市民の憩いの場となる大広間などを備えた、『川本生涯学習センター・川本公民館』をはじめ、『川本図書館』、『川本総合支所』を併設する、特徴的な複合施設となります。

今後、生涯学習活動や地域活動の新たな拠点として、地域住民をはじめ子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が、愛着をもって川本地区複合施設を利用できるよう、複合施設の愛称を募集し、応募作品の中から川本地区複合施設にふさわしい愛称を決定しました。

■ 愛称の選定経過

- ・ 募集期間：7月1日から7月31日までの期間、市民を対象に募集
- ・ 応募件数：169件
- ・ 選定方法：川本地区複合施設愛称選定委員会による選定
 ※委員会は、川本地区の住民を代表する者等で構成（公民館運営審議会、自治会、青少年健全育成会、PTAなど）

■ 決定した愛称

- ・ 愛称および愛称の説明

愛称	作者による愛称の説明
ワモア川本	<p>ワモアとは、『WA（和）』+『MORE（もっと）』を合わせた言葉です。</p> <p>施設を訪れた人が和やかな気持ちになり、多くの人と人との絆をつなぐ場所になってほしいという想いを込めました。</p>

※標記の例：川本地区複合施設『ワモア川本』、ワモア川本（川本地区複合施設）など

- ・ 作者：三石 志織さん（深谷市西大沼在住）
- ・ 記念品：深谷市地域通貨ネギー30,000negi



▲ 『川本地区複合施設』完成イメージ図

■ 問い合わせ先

深谷市教育委員会教育部 生涯学習スポーツ振興課

☎048 - 572 - 9581

～文化の秋・渋沢栄一新一万円札発行記念～

11月に『郷土の偉人フォーラム』を3日間連続開催

深谷市・深谷市教育委員会では、11月の渋沢栄一月間にあわせ、渋沢栄一翁の祥月命日の前後の3日間連続で『郷土の偉人フォーラム』を、深谷市民文化会館で、次のとおり開催します。

	とき	イベント名
1日目	11月10日(金)	ふるさと ふかや・渋沢学フォーラム
2日目	11月11日(土)	渋沢栄一ひとづくりフォーラム 2023
3日目	11月12日(日)	『郷土の偉人顕彰スペシャル』独演会&講演会

【1日目】 11月10日(金)

～『ふるさと ふかや』の未来を語ろう!!～

『ふるさと ふかや・渋沢学フォーラム』

■概要

深谷市教育委員会では、郷土の偉人・渋沢栄一翁の『立志と忠恕』の精神を育み、地域社会の将来を担う自覚を持った子どもたちを育てたいと考え、ふるさとにふれ、ふるさとを理解し、誇りに思う心や態度を育む、『ふるさと ふかや・渋沢学』を推進しています。

来る令和6年7月に予定されている新紙幣発行に先駆けて、『ふるさと ふかや・渋沢学フォーラム』を開催し、栄一翁の精神を学んだ子どもたちの発表などを行い、各学校などでの現在の取り組みや子どもの学びの姿を広め、『ふるさと ふかや・渋沢学』の一層の充実を図っていきます。

■とき

11月10日(金) 午前9時30分～午後3時30分

■ところ

深谷市民文化会館 大ホール

■内容

・午前の部(午前9時30分～正午)

『ふるさと教育』研究推進校による成果発表

- …小学生の子どもたちが自らの言葉で『ふるさとふかや』を語る
- ・午後の部（午後1時30分～3時30分）
 - 中学生・高校生・大学生による実践発表・意見交流
 - … 新一万円札の顔 渋沢栄一翁生誕の地 深谷 でふるさとの未来を考
える『ずっと住み続けたい、学び続けたい深谷ってどんなまちだろ
う』
- ・ブース・展示
 - 市内各学校や関係機関における取り組みの紹介
 - …市内各小・中学校の『ふるさと教育』パネル展示や体験型のミニ講
座など
- その他
 - ・入場料：無料（事前の申し込み不要）
 - ・フォーラムの様子はオンラインで市内の各小・中学校へ生配信
- 主催・問い合わせ先

深谷市教育委員会教育部 学校教育課（担当：高橋） ☎048 - 572 - 9578

【2日目】 11月11日（土） ※渋沢栄一翁祥月命日

～栄一翁が残した論語と算盤を人材育成に活かす～ 『渋沢栄一ひとづくりフォーラム2023』の開催

■ 概要

深谷市では、今もなお多くの経営者や起業家らに読み継がれる渋沢栄一翁の『論語と算盤』をテーマに、昨年引き続き『渋沢栄一ひとづくりフォーラム2023』を開催します。

第一部・論語編では、2023年WBC日本代表監督 栗山英樹氏、（公財）郷学研修所・安岡正篤記念館理事長 安岡定子氏らを招き、『論語に通ずるひとづくり』と題して、それぞれの実体験を交えながら人材育成について語っていただきます。

また第二部・算盤編では、渋沢栄一賞を受賞した企業や本市にゆかりのある企業の経営者を招き、時代が刻々と変化する中での新たな挑戦、その裏にある苦悩・葛藤、そして『ひとづくり』について討論していただきます。

このフォーラムを通して、人と人、企業、そして地域とつながりながら、栄一翁生誕地から栄一翁のスピリットの輪を更に広げていきます。

■ とき

11月11日(土) 午後2時15分～5時30分

■ ところ

深谷市民文化会館 大ホール

■ 登壇者

・ 論語編 (第一部)

栗山英樹 (2023WBC日本代表監督)

安岡定子 (公益財団法人郷学研修所・安岡正篤記念館理事長)

小島進 (深谷市長)

・ 算盤編 (第二部)

諸岡良和 (米屋(株)代表取締役社長・千葉県成田市)

平成21年度渋沢栄一賞受賞企業

明治32年創業。羊羹製造をはじめとした和菓子メーカー

三林圭介 (ヤマモリ(株)代表取締役社長執行役員・三重県桑名市)

令和2年度渋沢栄一賞を三林憲忠(現・代表取締役会長)が受賞

明治22年創業。醤油、つゆ、レトルト製造などの食品メーカー

石坂知子 (石坂産業(株)専務取締役・埼玉県三芳町)

昭和42年創業。リサイクル率98%以上の産業廃棄物処理業者

深谷市に新規プラントを今後建設予定。知子氏は深谷市出身

■ その他

・ 定員：1000人(招待者含む。申込者多数の場合、抽選)

・ 入場料：無料(事前に申し込みが必要)

・ 申し込み：9月27日(水)～10月19日(木)に市ホームページからオンライン申請

■ 主催・問い合わせ先

渋沢栄一ひとづくりカレッジ事務局(深谷市役所渋沢栄一政策推進部 渋沢栄一政策推進課) ☎048-577-5061

【3日目】 11月12日(日)

『郷土の偉人顕彰スペシャル』独演会&講演会

■ 概要

郷土の偉人を顕彰し功績を伝承するため、深谷市出身の英雄で武蔵武士の鑑と称された『畠山重忠公』と、近代日本経済の父と称され新一万円

札の顔となる『渋沢栄一翁』をテーマにした、独演会を開催します。

また、専門的な知見から『畠山重忠公』を深く知るための講演会を開催し、独演会と講演会の2部構成で『郷土の偉人顕彰スペシャル』を実施します。終演後にはお楽しみ抽選会もあります。

■ とき

11月12日(日) 午後1時～4時30分

■ ところ

深谷市民文化会館 小ホール

■ 出演者

- ・独演会(第一部):五代目宝井琴鶴(講談師)、宝井琴人(講談師)
- ・講演会(第二部):清水亮(埼玉大学准教授)

■ その他

- ・定員:300人(申込者多数の場合、抽選)
- ・入場料:無料(事前の申し込みが必要)
- ・申し込み:10月2日(月)～31日(火)に市ホームページからオンライン申請
- ・同日午前中には、深谷城址公園にて重忠太鼓と重忠節踊りの披露、重忠汁の無料配布(100杯限定)を行います。

■ 主催・問い合わせ先

深谷市教育委員会教育部 文化振興課 ☎048-577-4501

その他参考情報

11月11日(土)・12日(日)に、深谷市役所周辺で『第18回深谷市産業祭』、深谷市民文化会館に隣接する深谷城址公園で『渋沢栄一の郷・深谷博覧会』を開催します。

深谷博覧会では、渋沢栄一ゆかりの企業や団体などが出展し、各地の名産やグルメなどを販売します。また、郷土料理煮ぼうとうも販売予定です。